令和７年度　生活環境部　施策展開方針　報告書

1　まちづくり政策（生活環境部関係分）

政策1　自然・環境

政策展開の方向性

江別市の豊かな自然や地域環境を次代に引き継ぐために、脱炭素社会の実現をはじめ、水と緑の保全や、地域環境の保全、ごみの減量化・資源化などへの課題に対応するとともに、市民、事業者、行政との協働により、環境保全に取り組み、安全で快適な生活環境づくりを進めます。

令和７年度の取組状況報告

１－（１）　人と自然の共生

・令和32（2050）年脱炭素社会の実現に向け、「第２次江別市環境管理計画兼地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、太陽光発電設備等を導入する家庭に対する補助をはじめ、地球環境・水と緑・安全な地域環境の保全や省エネルギー・再生可能エネルギーの普及促進などの各施策に取り組みました。
・自然環境を活かした体験学習をはじめ、幅広い世代に応じた学習機会の提供を図るなど、市民一人ひとりの環境保全への意識を醸成する取組を推進しました。
・快適で美しい街並みづくりのため、市民憲章推進協議会が実施する「花のある街並みづくり運動」に参加する自治会等への花苗の斡旋・助成や水遣り等の管理活動などを支援し、市民協働による緑化の取組を推進しました。

１－（２）　循環型社会の形成

・循環型社会のさらなる推進に向け、「江別市一般廃棄物処理基本計画」に定める、排出抑制、資源化及び最終処分の目標値や各施策などについて、中間見直しを行いました。
・「江別市食品ロス削減推進計画」に基づき、家庭での食材の使いきり講習会等を開催したほか、飲食店等と連携した、消費・賞味期限の近い商品を購入する「てまえどり」や宴会での食べ残しを減らす「3010運動」を啓発するとともに、SNS等を活用した食品ロス削減の取組を周知しました。
・プラスチックごみの処理では、不法投棄されたごみ等を迅速に回収するほか、マイカップ運動等を啓発するなど、プラスチック製使い捨て容器の削減に取り組みました。また、プラスチックごみのサーマルリサイクルを行っている環境クリーンセンターは、延命化により令和18年度まで稼働することから、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に適合した処理等の研究に取り組みました。
・ごみ処理を長期的・安定的に継続するため、次期最終処分場の整備を進めました。
・北海道コカ・コーラボトリング株式会社との協定により、使用済みペットボトルを飲用ペットボトルに再生する“水平リサイクル”を開始しました。

政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
環境に配慮した生活をしている市民割合	%	75.7	74.2	69.6		↑
江別市は、環境問題に積極的に取り組むまちだと思う市民割合	%	42.4	49.8	52.2		↑
緑に親しめる空間があると思う市民割合	%	90.2	90.3	90.7		↑
市民１人１日当たりのごみ排出量	g/日	864	826	789		↘
生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「環境教育等推進事業」 環境関連イベント及び環境学習参加者数	人	2,526	2,487	2,631		↑
「花のある街並みづくり事業」 活動団体数	団体	101	99	95		↑

政策４　安全・安心

政策展開の方向性

交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて、安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図り、災害に強く、誰もが末永く安心して住み続けられるまちづくりを進めます。

令和７年度の取組状況報告

４－（１）　安全な暮らしの確保

・「第11次江別市交通安全計画」に基づき、通学時の児童の安全確保のため、交通安全指導員を配置して安全指導を行うとともに、安全意識の向上を図るため、交通教育指導員による年齢階層別の交通安全教室を開催したほか、交通安全運動期間中のイベント等にて啓発を実施しました。
・「江別市犯罪被害者等支援条例」を制定し、犯罪被害者に対する見舞金支給制度を施行したほか、犯罪被害者やその家族が利用可能な支援の案内冊子を公共施設に配架して啓発に努めました。また、防犯や安全意識の向上のため、警察等と連携して啓発活動を実施しました。
・市民が悩み事や心配事を気軽に相談できるよう、相談員の確保や研修会などの体制充実を図った上で、市民相談所をはじめとした各種相談窓口を設置するとともに、市ホームページや広報誌等を活用して相談窓口の周知を行いました。
・外国人住民に情報を届け、外国人住民の困り事を把握するための取組について検討しました。
・衛生的な生活環境を確保するため、やすらぎ苑使用者の定期募集や合同墓の通年受付により市民ニーズに応じた墓所の提供を行うとともに、葬斎場及び墓地を安定的に運営しました。また、ペットの適正飼育や空き地の草刈りなど、広報誌等を通じて周知啓発に努めました。

政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合	%	83.9	83.6	84.5		↑
生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「交通安全教育・啓発事業」 交通安全教室受講者数	人	21,828	23,326	23,376		↑
「市民相談事業」 市の市民相談所を知っている市民割合	%	51.2	50.2	51.4		↑

政策８　協働・共生

政策展開の方向性

江別市自治基本条例で掲げる市民自治の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、ＮＰＯ、ボランティア・市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携し、魅力ある協働のまちづくりに取り組み、多様な主体がありのままに暮らせる共生のまちを目指します。
また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を行うほか、国際交流を推進するとともに、在住外国人にとっても住み良いまちを目指します。

令和７年度の取組状況報告

８－（１）　協働のまちづくりの推進

・「江別市自治基本条例」の理念や内容を広く市民に浸透させるため、市民参加・市民協働の概念と実際の活動との関連付けが伝わるようリーフレットを改訂し、周知啓発を行いました。
・江別市自治基本条例検討委員会からの提言を踏まえ、市民自治によるまちづくりを推進するための今後の取組を検討し公表しました。
・「江別市自治基本条例」に掲げる市民自治の基本原則である「協働」について、将来のまちづくりを担う世代である、小学４年生と中学２年生を対象にリーフレット等を配付して早朝ミニ講座を実施し、意識啓発を図りました。
・地域の公共的な課題に取り組む市民活動の活性化を図るため、協働のまちづくり活動支援事業を実施したほか、セミナーやワークショップの開催、市民活動団体版出前講座事業等を実施しました。
・地域コミュニティ活動の推進のため、協働のまちづくりの重要な主体である自治会の課題解決を目的としたセミナーを開催するなど、自治会活動の活性化に向けた支援を行いました。

８－（２）　共生社会の形成

・「第３次江別市男女共同参画基本計画」に基づき、男女平等・共同参画社会と多様性を認め合う社会の実現に向けた意識の醸成を図るため、セミナー「今、知っておきたい性の多様性」を開催しました。
・日本女性会議へ市民を公募派遣し、報告会を開催しました。また、若年層の理解を深めるために小中学生向けリーフレットの配付や男女共同参画週間に合わせ、情報図書館等へリーフレットを配架するなど、周知啓発を行いました。
・江別市パートナーシップ宣誓制度利用者の市外転出入時の負担軽減と利便性の向上を図るため、令和７年４月にパートナーシップ制度自治体間連携ネットワークに加入しました。

政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	27.2	34.0	36.1		↗
男女が平等だと思う市民割合	%	51.9	56.7	58.1		↗
共生のまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	47.0	46.3	49.2		↗
生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「自治基本条例啓発事業」 自治基本条例の認知度	%	30.2	33.3	35.4		↗
「市民協働推進事業」 市民協働推進事業で実施した事業数	件	10	10	9		↗
「江別市男女共同参画基本計画」 男女共同参画の考え方が必要だと思う市民割合	%	81.1	78.8	79.9		↗
「江別市自治会連絡協議会補助金」 「自治会活動等支援事業」 各種自治会活動研修会等参加者数	人	62	127	99		↗

政策９ 計画推進

政策展開の方向性

効率的で効果的な行政サービスの執行と健全な財政運営に努めるとともに、時代の変化と地域課題に応じた市政運営を推進します。

また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、様々な媒体を通じて広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。

令和７年度の取組状況報告

９－（１） 自主・自立の市政運営の推進

・市民サービス向上と窓口の混雑緩和のため、住民票や戸籍証明等を市の窓口以外で発行できる「コンビニ交付」の利用促進に向けて、市ホームページや広報誌等を活用して周知・広報を行いました。
・「コンビニ交付」の利用に必要なマイナンバーカードについて、申請機会の充実を図るため、公民館等において申請サポートを実施するとともに、「コンビニ交付」のさらなる利用促進に向け、利用方法を掲載した「ポケットガイド」を作成し、マイナンバーカードの新規交付や更新時を中心として配付しました。

政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
市政運営に満足している市民割合	%	64.8	74.5	77.3		↗
生活環境部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「住民基本台帳ネットワークシステム事業」 各種証明書のコンビニ交付総件数（単年度）	件	10,806	17,715	20,273		↗

2　えべつ未来戦略（生活環境部関係分）

戦　　略	■具体的施策 「関連事業」　（担当課）
【戦略１】 子どもが主役のまちをつくる	
【戦略２】 幸せに歳を重ねられる暮らしを とどける	
【戦略３】 みんなの働きがいと、元気な経済を つくる	
【戦略４】 地域から地球温暖化防止に挑む	① 脱炭素社会の実現 「脱炭素推進事業」（環境課） ② 再生可能エネルギーの導入拡大と利用推進 「脱炭素推進事業」（環境課） ③ 環境教育・学習の推進 「環境教育等推進事業」（環境課） 「環境マネジメントシステム事業」（環境課）
【戦略５】 デジタル技術で住みよい明日を 切りひらく	

3　生活環境部の資源

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
歳出決算額 （千円）	一般会計　（A）	3,724,272	4,041,670			
	特別会計　（B）	0	0			
	合計　（A+B）	3,724,272	4,041,670	0	0	0
正職員人件費 （千円）	人工　（a）	70.00	71.00			
	平均単価　（b）	7,695	8,310			
	人件費　（a×b）	538,650	590,010	0	0	0
総　額		4,262,922	4,631,680	0	0	0